

ビノレルビン療法

治療のスケジュール ※症状や経過に合わせて お休み期間は変わることがあります

外観	お薬名	点滴時間	薬の効果	スケジュール		
				1日目	8日目	9~21 日目
	ロゼウス (成分名：ビノレルビン)	10分 以内	がん細胞の 増殖を抑えます	○	○	お休 み

1コース 3週間の点滴治療を繰り返します

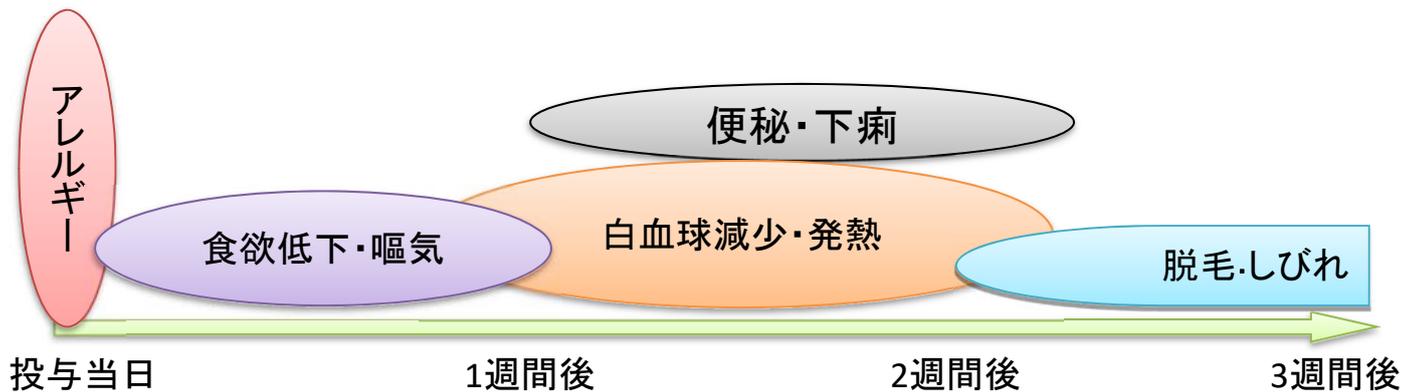
！ 点滴中の注意

- 点滴部位に強い痛みや腫れ、かゆみを感じた場合は早めに医療スタッフまでお知らせください。
- 投与中にアレルギー症状が起こることがあります。
点滴投与中に息苦しさや顔のほてり、吐き気・気分不快などの症状があらわれた場合は我慢せずに医療スタッフまで申し出てください。

血管痛

- 点滴が終わった数時間～数日後に、点滴をした血管の周囲や血管に沿って、痛みや発赤・腫れが起きることもあります。

起こりやすい副作用の発現時期と対処



全身倦怠感

- からだのだるい・重い・疲れやすい

※睡眠や休養を十分とり、自分のペースで行動しましょう。気になる時はご相談ください

食欲不振・吐き気

- 抗がん剤を投与した日から1週間後ごろまで、食欲が落ちたり、吐き気やおう吐といった症状が見られることがあります。
- 無理せずに、食べやすいものを食べられる量から摂るようにしましょう。

末梢神経障害

- 点滴から3～5日後に、手足のしびれや感覚異常が現れることがあります。
- 点滴の回数を重ねていくと、徐々に起こる頻度が高くなる傾向があります。
- 症状が現れたら早めに医師にお知らせ下さい。

便秘

- 点滴から3日すぎごろから便秘になることがあります。定期的なお通じがあるように下剤などを調節しましょう。便秘が続くときは医師・看護師にお知らせ下さい。

骨髄抑制

白血球：感染症を防ぐために必要な成分

- 抗がん剤投与から1～2週間後に白血球が減少することがあります。
白血球が減ると体の抵抗力が弱くなり感染症にかかりやすくなります。
- 感染予防のために、外出の際は人ごみをさけ、手洗い・うがいをこまめに行いましょう。

血小板：出血をとめるために必要な成分

- 血小板が減少してあざや、出血が起こりやすくなることがあります。
- けがや打撲に注意し、歯磨きや鼻かみはやさしく行いましょう。

赤血球：貧血を防ぐために必要な成分

- 赤血球中のヘモグロビン量が少なくなり貧血が起こることがあります。
- 買い物や車の運転などは、体調に無理のないよう行いましょう。
- 安静を心がけ、十分な睡眠・休養をとりましょう。

脱毛

- 個人差はありますが、抗がん剤投与後2～3週間ごろから髪の毛や体毛が抜けやすくなります。あらかじめ帽子やかつらなどを準備しましょう。
- パーマやヘアカラーは避け、低刺激性のシャンプーを使用しましょう。



このような症状が現われたら、必ずお電話ください

- 38度以上の発熱があるとき
- 乾いた咳が続く、または息切れを感じる時
- 1日の半分以上を寝てすごすほどのだるさがあるとき
- 吐き気止めの薬を内服していても、1日6回以上の嘔吐、または水分をとれないほどの吐き気があるとき
- 1日7回以上の下痢があるとき
- 点滴した部位が赤く腫れてきた、痛みや熱感がある
- 皮膚に発疹やじんましんが出てきた



電話する前にご確認を

- ① 診察券番号
- ② おかかりの診療科
- ③ 主治医の名前
- ④ 抗がん剤治療中であること
- ⑤ 気になる症状（具体的に）

連絡先

横浜市立大学附属病院

電話：045（787）2800（代表）

《平日8：30～17：00》 各診療科

《平日の夜間および休日》救急外来

※ ここに診察券の内容を写しましょう

□□□-□□□-□

お名前

